

第17回

草津市青少年俳句大会
作品集

発刊のことば

移り変わる季節に心を傾け、身近な出来事や感動した気持ちを、五・七・五の十七音で表現する。俳句は、世界で最も短い文学と言われています。

草津市は、「俳諧の祖」といわれる山崎宗鑑生誕の地とされており、「ふるさと草津」の文化発展と継承を図るため、様々な俳句のまちづくり事業に取り組んでいます。

「草津市青少年俳句大会」は、市内の小学五年生から中学三年生の児童・生徒のみなさんに、幼い頃から俳句に親しんでもらおうと、毎年開催しています。今年もコロナ禍にも関わらず、五、四五一句という多くの投句をいただきました。どの句も個性があふれており、子どもたちの豊かな感性や自由な発想を感じとることが出来ます。

子どもたちには、これからも俳句づくりを通して、草津の歴史や文化、自然等に触れていただきたいと思っております。そして、郷土を愛する心を大切にしながら、日本文化の魅力を理解し、未来へとつないでいけることを願っております。

また、山崎宗鑑翁の御縁で、姉妹都市として交流の深い香川県観音寺市の小・中・高校生のみなさんの作品も掲載させていただきましたので、併せて御覧ください。

令和四年一月二十八日

草津市教育委員会教育長 藤田 雅也

お祝いのことば

「草津市青少年俳句大会」による句集が発刊されますことに対しまして、心よりお慶び申し上げます。

世界的にコロナの影響が続いておりますが、本年も多数の俳句をご応募いただき大変嬉しく思います。子どもたちの素直な感性による、日常のささやかな感動や四季の情景を描写する表現に驚かされます。

また、観音寺市内の児童・生徒の表現力豊かな俳句も句集に掲載していただきました。俳諧の祖、山崎宗鑑翁のご縁により、このように俳句を通じて草津市との親交が深まりますことは、誠に喜ばしく感謝にたえません。

青少年俳句大会が今後も草津市に培われた俳句文化のますますの発展に寄与されますとともに、両市の交流が末永く続きますよう祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

令和四年一月二十八日

観音寺市教育委員会教育長 三野 正

小学生の部 五年生 石倉政苑 先生 選

【優秀作品】

天の川空に宝石うかんでる

志津南小学校 坂本七海

【評】壮大な宇宙の川である天の川は、晩夏から秋にかけて最も美しい。まるで宝

石の様だと表現された事はすごい発見です。

パキーンとじょうずにわれたすいかわり 矢倉小学校 堀端湊斗

【評】夏の印象の強いスイカ。形はさまざまなものが店に並ぶ。スイカに棒を入れ

たとたんパキーンと割れたという、たのしいおどろき！きつと甘いにちがいないね。

【入選作品】

暑い日にはじける水と笑い声

志津小学校 手塚鷹斗

水てきがアジサイたちを光らせる

志津小学校 中川慶人

カプトムシから顔だしこんにちわ

草津小学校 横田悠真

夏海みんなどで泳ぐ楽しいな

草津小学校 北川香桜

油蟬ジージー鳴きながら相手待つ

草津第二小学校 内林譲生

シャボン玉ぱんつとわれて楽しいな

草津第二小学校 林航世

雨上がり空にかぶはにじのはし

矢倉小学校 大伴日花里

桜には人魅きつける磁石ある

老上小学校 速水竣悟

ひまわりが太陽のようにてらしてる

老上小学校 高月真琴

夏休みたくさん遊んでもう終わり

老上西小学校 後藤瑠依

なつやすみびわこにいつておよぎたい

老上西小学校 濱中愛湖

日焼け止めぬらずにいるとアンパンに

玉川小学校 坂東真帆

梅雨の時期急に雨ふり大変だ

玉川小学校 山部真葵

もくもくと入道雲が浮かんでる

南笠東小学校 大藪千明

お年玉今年は何円たのしみだ

笠縫小学校 山元奨仁

さんぽ中あじさい見ると雨のつぶ

笠縫東小学校 滝川礼菜

なくなつた夏の練習コロナ禍で

笠縫東小学校 東莉菜

風薫る葉っぱがゆられ葉のダンス

常盤小学校 吉村元希

小学生の部 六年生 石倉政苑 先生選

【優秀作品】

運動会バトンも心もつないでく 志津小学校 新庄叶大

【評】今年こそみんなで心もつなぎ、楽しい運動会が出来るといいですね。

秋風といっしよにそまる山の色

常盤小学校 一浦愛衣

【評】秋の山は、明るい日差しを浴びて表情が変わって来る。又、秋が深まると、風と共に山の色がそまって来るといふ表現にびっくりです。

【入選作品】

スイカわりことふったら大ハズレ 志津小学校 矢野悠真
 せまってくる卒業式悲しいな 志津南小学校 田中晃晴
 どこからかキンモクセイの香りする 志津南小学校 伊藤英太
 空見上げ入道雲やもうきたか 志津南小学校 小早川珀瑛
 夏の朝ラジオたいそうさあ行こう 草津小学校 小野蓮花
 待ちに待ち待ちくたびれた夏休み 草津小学校 宮本雄惺
 夏の空いつも青くて海のように 草津第二小学校 下出将摩
 鯉のぼり空を泳いでいい気持ち 渋川小学校 武田羚司
 夏の空雲一つ無いうれしさよ 矢倉小学校 伊藤和香子
 おもしろいせんすみたいだいちようの葉 矢倉小学校 長尾知夏
 お年玉本気笑顔がかくせない 老上小学校 前原悠哉
 グランドで汗を流す子どもたち 老上小学校 谷希星
 夏の空応援の声なりひびく 玉川小学校 青木澤那
 庭のせみ目覚まし時計に早変わり 南笠東小学校 今村祥太郎
 春になりほど良い風が気持ちよい 南笠東小学校 山崎春花
 甲子園最後の舞台がんばろう 笠縫小学校 横井海星
 雲の峰ふとおとずれる想像力 笠縫東小学校 石原さくら
 夏祭りコロナおさまりでできるかな 常盤小学校 井上結愛

中学生の部 一年生 堀竹善舟 先生選

【優秀作品】

さらさらと風とすすきのハーモニ 高穂中学校 谷川優奈

【評】風に触れて、さらさらとすすきの鳴る音を、作者は美しいハーモニとして、感じとっています。野山の秋らしい景色も見えてくるようです。

扇風機最前列は予約済

草津中学校 永山万桜

【評】扇風機の前列に座ることは、風を一人占めしたような、得した気分になりますね。しかもそれが「予約済」。人間の滑稽な一面がのぞいていますね。

【入選作品】

冬練は三途の川をよく渡る 高穂中学校 大脇康誠
 秋刀魚みため息こぼす母を見る 高穂中学校 柴山結芽
 雪とけて生き物たくさんやってくる 高穂中学校 植田悠嵩
 冬の日ほこたつとみかんで籠城だ 草津中学校 井上翔太
 虫の声すずしい風にながれていく 草津中学校 長岡莉子
 セミが鳴く青空の下駐輪場 草津中学校 一樂夏那
 夏の空想いを照らす一番星 草津中学校 小林美尋
 シヤチホコやギラギラ輝く炎天下 老上中学校 奥村理句
 夕焼が雲のすきまに顔を出す 老上中学校 中村遥佳
 こいのぼり河にらんで雲食べる 老上中学校 岸遥佳
 秋の空もみじと重なり染まってく 玉川中学校 中村友華
 夏の海日光反射宝石だ 新堂中学校 竹中悠善
 雪だるまにんじんつけたら動くかも 新堂中学校 山田篤史
 春の空希望と夢をにぎりしめ 松原中学校 三谷真衣
 ただいまとみんなが帰るお盆の日 松原中学校 岸本朋華
 ハンドルにぼくののがてなあかトンプ 松原中学校 山田明賢
 見上げれば空を旅するいわし雲 光泉カトリック中学校 伊藤柚佳
 向日葵が向いてる先は青い空 光泉カトリック中学校 木本葵

中学生の部 二年生 堀竹善舟先生選

【優秀作品】

山々にお化粧したがる秋が来た

高穂中学校 山岡実莉
 【評】秋の季節を表現するのに、「山装やまじょうう」という言葉があります。秋が「お化粧したがる」という、作者の発想は、新鮮で楽しいですね。

せみの声体感温度四十度

玉川中学校 外山美和
 【評】せみの鳴く声が、人の体感温度を刺激するという想像力は素晴らしいです。また、漢字での表現が、重い気分も連想させて効果的です。

【入選作品】

- | | | |
|------------------|------------|------|
| 蟬の音が朝のアラームミンミンミン | 高穂中学校 | 村田萌衣 |
| 秋風よコロナと一緒に乗せてって | 高穂中学校 | 面脇大智 |
| 鮮やかに色を変えてく銀杏の木 | 高穂中学校 | 長田真花 |
| 夏五輪メダルをかんで大炎上 | 高穂中学校 | 米田宗永 |
| 熱帯夜夢の中ではハワイ気分 | 草津中学校 | 吉川実優 |
| 虹見れば幸せなことがよってくる | 老上中学校 | 濱崎彩華 |
| 甲子園笑顔と涙の境界線 | 老上中学校 | 坂本隼都 |
| 五月晴れ飛行機雲が消えていく | 老上中学校 | 栗生雄信 |
| ミニ畳い草がおる夏の風 | 老上中学校 | 岡井晴香 |
| 秋の田の一本道は稲の海 | 新堂中学校 | 福永結愛 |
| 俳句をね秋風の中考える | 新堂中学校 | 末宗優那 |
| シャボン玉つれていってよ春の空 | 新堂中学校 | 今村昂星 |
| ノロノロと俺のペースはかたつむり | 松原中学校 | 高橋栄人 |
| 春の音虫の音風の音恋の音 | 松原中学校 | 岸本陸翔 |
| 甲子園土から熱気がわいてくる | 松原中学校 | 山本皓大 |
| 秋の月水の月まで美しい | 光泉カトリック中学校 | 阿部吏央 |
| 七夕よずっと晴れてて今日だけは | 光泉カトリック中学校 | 藤井美咲 |
| かき氷三原色で彩りを | 光泉カトリック中学校 | 米田幸祐 |

中学生の部 三年生 堀竹善舟先生選

【優秀作品】

かぐやひめどこよどこよと月見かな

高穂中学校 伊藤敦史
 【評】『かぐや姫』は、日本最古の物語ですね。月の世界へ旅立ったかぐや姫を探しながらお月見している作者。メルヘンの世界に誘ってくれる楽しい作品です。

聖なる火五輪の中へ走り出す

草津中学校 木戸卓実
 【評】今回のオリンピックは、コロナ禍での東京開催でしたね。オリンピックの「聖なる火」が平和の祭典として、力強く表現されています。

【入選作品】

- | | | |
|------------------|------------|--------|
| 夏の汗シャツルとともに宙に舞う | 高穂中学校 | 松浦琴乃 |
| 雨蛙草木の色につられたか | 高穂中学校 | 陣田晴佳 |
| 金木犀ぼつぼつ落ちて星の海 | 高穂中学校 | 吉田茉央 |
| 授業中あつくて結ぶポニーテール | 高穂中学校 | 石倉由羽 |
| 母の日は花屋の前に子供たち | 老上中学校 | 栗田結衣 |
| 冬の朝マフラー巻いて待ち合わせ | 老上中学校 | 下本大輝 |
| 風鈴に負けじと鳴くは油蟬 | 玉川中学校 | 海老根司 |
| ひらひらと波紋をつくるもみじかな | 玉川中学校 | 水谷美緒 |
| 体育祭絆とバトンをつなぐとき | 玉川中学校 | 田代輝 |
| 採れたてのトマト片手に走りだす | 新堂中学校 | 鎌田龍生 |
| 母の日は自分が母になろうかな | 新堂中学校 | トレドアユミ |
| 風鈴の音が聞こえる祖母の家 | 新堂中学校 | 北出彩乃 |
| 暗い空怪しく迫る夕立だ | 松原中学校 | 面澤明花 |
| 全力で終始笑顔の甲子園 | 松原中学校 | 浅井和樹 |
| 扇風機回してばかりの五番打者 | 松原中学校 | 清水康行 |
| 肌の色白から黒へと衣替え | 光泉カトリック中学校 | 荻野峯彰 |
| 猛暑さえ恋しくなるよ夏休み | 光泉カトリック中学校 | 松井凱亜 |
| 向日葵の黄色の顔があたたかく | 光泉カトリック中学校 | 大塚琉世 |

観音寺市 宗鑑祭にちなむ

小・中・高校生俳句

【特選作品】

藤原久一先生 選

夕焼けの晴れたあいまに橋かかる

観音寺小学校六年 荻田悠雅

【評】「橋かかる」の表現がよい。橋とは虹のこと、虹と書けば季語が二つになる。すばらしい発想です。

窓の露なぞつた跡に夜の町

中部中学校三年 北野歩奈

【評】遠くに見える街明りが秋の寂しさをも感じられる。「なぞつた跡に」がよい。感動あり。

泣かないと決めて挑んだ夏舞台

観音寺総合高等学校三年 鳥谷叶空

【評】強い決意と緊張感を感じます。泣きたい時は泣いていいです。次の舞台には笑顔で挑戦して下さい。

横山シゲミ先生 選

遠浅で遊び尽くした日焼けあと

観音寺小学校六年 大谷優介

【評】小さな魚や、かをを追っかけて夢中で遊んだ。夜、気がつけば手足顔が赤くなりひりひりしている。「遊び尽くした」がいいです。

猛勉強今年は違う夏休み

観音寺中学校三年 森天良

【評】高校入試に向っての猛勉強。がんばり屋の作者。今年はいつもととは違うんだ。作者の意気込みが伝わって来る。

ホームラン拳をあげる夏の空

観音寺総合高等学校一年 三谷涼那

【評】一読して甲子園での高校野球の場面が見えてくる。輝く夏の空へ「拳をあげる」がいいです。

遠浅で遊び尽くした日焼けあと

観音寺小学校六年 大谷優介

【評】この日焼けあとが海での思い出の総決算。遊び尽くした満足感が伝わる。

短冊に願いがともおさまらぬ

大野原中学校一年 鮎川媛香

【評】いいぞー！でつかい夢!!ぜひとも実現してね。

ドア閉まる二人の間舞ふ桜

観音寺総合高等学校三年 瀧本寧音

【評】桜吹雪の中、情感あふれる別れの場面。読み手の想像力をかきたてる佳句。

片山祐子先生 選

背が伸びて祖母のかわりにゴーヤ取る

常磐小学校六年 山田愛紗

【評】背丈が一気にのびたこの夏、祖母にかわってゴーヤを取るといっほこらしい気分がよく表現できました。

画面より溢れる熱気夏季五輪

豊浜中学校二年 三好凜

【評】テレビ観戦でのオリンピック選手たちの激戦の姿やひたむきさに感動した夏。ありさまがよく伝わります。

また中止今年もねむる浴衣たち

観音寺総合高等学校三年 合田美咲

【評】「また中止」誰もが何度も経験しています。「浴衣」なので夏祭りが想像できる。「浴衣かな」と結びたい。

おわりに

草津市は「俳諧の祖」山崎宗鑑の生誕地といわれ、俳句の文化が根ざすまちです。本市では「青少年俳句大会」のほかに、広報くさつで「ふるさと草津俳句会」の募集を行っています。小中学生や保護者を含む

多くの方々からの投句をお待ちしております。

詳しくは、生涯学習課（〇七七一五六―二四二八）にお問い合わせいただくか、市ホームページ、広報くさつを御覧ください。草津市教育委員会事務局生涯学習課